

第33回北陸腎疾患・血液浄化療法研究会 (プログラム)

日 時：令和7年11月1日(土) 13:30から

場 所：金沢市アートホール 金沢駅前

ポルテ金沢 6F (ホテル日航隣)

金沢市本町2丁目15番1号 TEL 076-224-1660

当番世話人：金沢大学 岩田 恭宜

一般演題1

13:40-14:20

座長 福井大学 腎臓病態内科学 糟野 健司

- 1 数年間の未病から発熱、皮疹を契機に診断されたsilent lupus nephritisの一例
国立病院機構金沢医療センター 腎・膠原病内科

○瀬島崇史、宮川太郎、森 杏里、南部文香、北川清樹

【症例】30歳女性。X-8年に抗核抗体1280倍を指摘されたが、無症状で経過観察されていた。X年6月に発熱、皮疹が出現し、SLEと診断され、PSLが開始された。検尿異常はなかったが、腎生検でループス腎炎Class III (A) と診断。MMFおよびプラケニルの併用を開始した。

【考察】silent lupus nephritisでも時に活動性が高く、可能な限り腎生検で組織評価を行うことが重要である。

- 2 3回目の腎生検によって診断に至った、PAX2遺伝子異常を認めるOligomeganephroniaの一例

金沢大学附属病院小児科

○横山忠史、井上なつみ、和田泰三

症例は12歳女児。乳児期より尿蛋白・血小板増加と多脾症を認め、腎生検では当初メサングウム増殖、次いでFSGS様と診断された。7歳時に診断の再検討のため腎生検を施行し、Oligomeganephroniaが疑われた。遺伝子検査にてPAX2領域の対立遺伝子欠失を確認した。病理診断と経過に違和感がある場合、腎生検の再検討が診断に有用となる。

- 3 非造影MRIによる診断が有用であった運動後急性腎障害（ALPE）の一例

福井県立病院 腎臓・膠原病内科

○長野凌真、片野健一、浦山りか、横井靖二、荒木英雄

30歳代男性。200m走後の腰背部痛、Cr 3.31

mg/dLのAKI。ALPEを疑い非造影MRIを施行。両腎皮質にびまん性のT2・拡散強調高信号を認め、腎血管攣縮に伴う虚血性浮腫を示唆。非造影MRIは造影剤腎障害を回避し、ALPE診断に有用な非侵襲的検査と考えられた。

4 C4d強陽性を認めレクチン経路の関与が示唆されたC3腎炎の一例

福井大学医学部附属病院 腎臓病態内科学

○伊藤皓亮、西森一久、糟野健司、細川 晃、浜田緋奈、
西川 翔、西川雄大、小林麻美子、福島佐知子、
高橋直生、遠山直志

34歳男性、6年前に前医でネフローゼ症候群に対しC3腎症の診断をされていた。再発し、蛋白尿4.4g/gCr、血清Alb2.3g/dL、C3低下(56.0mg/dL)を認めた。腎生検からはMPGN III型Strife-Anders型のC3腎炎と判断した。C3cとC4dの糸球体沈着を認めたが、C1q陰性であったためC4d陽性はレクチン経路の関与が示唆された。凍結標本直接法でのC4d陽性のC3腎症の症例報告はまれであった。

一般演題2

14:20-14:50

座長 富山大学 第二内科 小池 勤

5 腎限局性と診断したALアミロイドーシスの剖検例

福井県済生会病院 内科

○上川康貴、笠原菜摘、加藤珠代

70歳台男性。ネフローゼ症候群にて腎生検を行い腎アミロイドーシスと診断した。アミロイド蛋白を同定できず透析困難症を経て死亡した。剖検では両腎に広範なλ鎖の沈着を認めた。他の臓器にエオジン好性沈着物を認めず、腎限局性ALアミロイドーシスと診断した。限局性ALアミロイドーシスは沈着臓器に応じた治療が求められるが、腎限局性の報告は少ない。

6 重症中毒量に相当するサリチル酸服用に対して血液浄化療法が有効であった一例

1) 公立松任石川中央病院 腎リウマチ内科

2) 公立つるぎ病院 内科

○山本柚紀、玉井 亨、朝倉啓太、越智雅彦、
高枝知香子

20代男性。市販の解熱薬100錠を内服し、動悸や手足の痺れ、呼吸苦、耳鳴、耳閉感などの症状が現れたため、救急要請し当院に搬送された。アセチルサリチル酸を33000 mg (300 mg/kg) 摂取したと推定され、サリチル酸中毒と判断した。重症量に相当すると考え、CHDFを施行した。症状の改善を認め、第4病日にCHDFを離脱し、第7病日に退院となった。

7 血漿交換を含む集学的治療を行い、救命し得たNXP-2抗体陽性の皮膚筋炎の1例
富山大学 第二内科

○清水英子、仙田幸音、近 聡子、横山真伍、
村井沙耶佳、掛下幸太、山崎秀憲、小池 勤、
絹川弘一郎

44歳男性。1ヶ月前から全身痛と紅斑、四肢筋力低下を認めた。CK高値、両側大腿MRI検査で異常信号を認め、皮膚筋炎としてステロイド、 γ グロブリン製剤を投与した。CK値は増悪し、嚥下機能障害、貧血、血小板減少、急性腎不全が出現した。CHDF、血漿交換を連日行い、筋症状や腎機能障害は改善した。NXP-2抗体陽性と判明した。

一般演題3

14:50-15:20

座長 石川県立中央病院 腎臓内科・リウマチ科 藤井 博

8 自家血で胸膜癒着を行った血液透析患者の2例
藤田記念病院内科

○宮崎良一、宮城恭子、五十嵐一彦

難治性胸水貯留を認めた血液透析患者2例に対し、自家血40mLとトラネキサム酸1,000mgによる胸膜癒着術を施行した。いずれも滲出性胸水で、ドライウェイトの調節では改善しなかった。今回の癒着療法に伴う有害事象なく癒着に成功した。自家血胸膜癒着術の有用性を報告する。

9 維持血液透析中に難治性胸水を呈した悪性リンパ腫の1例
石川県立中央病院 腎臓内科・リウマチ科

○額 裕海、藤木大河、二又健太、山森文敬、藤井 博

80歳代女性。約1年半前に維持血液透析を導入した。3週間前から食欲不振と胸水貯留を認め、DW減量でも改善に乏しく、当院に紹介受診となった。CTで左優位の大量胸水を認め、リンパ節腫脹・肺腫瘍は認めなかった。胸水病理で悪性リンパ腫と診断した。緩和医療の方針とし、胸膜癒着術を施行した後に転院となった。文献的考察を加えて報告する。

10 腹膜透析加療中に発症した陰嚢水腫4症例の臨床的特徴

金沢医科大学腎臓内科学

○藤井 愛、新里康太、桂 康貴、佐久間愛美、
楠野優衣、熊野 奨、沖野一晃、林 憲史、
藤本圭司、横山 仁、古市賢吾

腹膜透析（PD）は在宅で施行可能な腎代替療法であるが、感染症や腹圧上昇に伴う合併症が問題となる。特に陰嚢水腫やヘルニアは日常診療でしばしば遭遇するが、詳細な臨床的検討は限られている。今回われわれは、当院においてPD経過中に陰嚢水腫を認めた4症例を経験した。各症例の臨床像、画像所見、治療内容を整理し、共通点や発症リスクについて考察を行った。本報告を通じ、PD患者における陰嚢水腫の特徴と今後の管理上の課題を明らかにする。

テーマ演題

15:20-16:20（献腎移植）

座長 金沢医科大学 腎臓内科学 古市 賢吾

11 HBV既感染ドナーからの献腎移植の1例

富山県立中央病院 腎臓・高血圧内科

○山口かおり、柳澤宏嘉、梶川 尚、舟本智章、
篠崎康之

富山県立中央病院 泌尿器科

鳥海 蓮、武澤雄太、島 崇、瀬戸 親

40歳代男性。IgA腎症による末期腎不全のため7年前に腹膜透析を開始し、同時期に献腎登録を行った。HBV既感染ドナーからの臓器提供があり、上位候補の辞退により移植機会を得た。HBVワクチン未接種であったが、感染リスクの説明・同意のもと移植手術を行った。術後、肝炎の発症はなく経過している。

12 尿路再建に尿管尿管吻合を行った心停止後献腎移植の1例

富山県立中央病院 泌尿器科

○鳥海 蓮、武澤雄太、島 崇、瀬戸 親

富山県立中央病院 腎臓・高血圧内科

柳澤宏嘉、梶川 尚、山口かおり、舟本智章、篠崎康之

レシピエントは60歳代男性。IgA腎症による末期腎不全のため、28年前に血液透析導入となった。同時期に献腎登録を行ったが、待期期間は長期化していた。移植手術の際、萎縮膀胱のため膀胱尿管新吻合が困難な可能性が考えられたため、尿管尿管吻合を施行した。萎縮膀胱では、下部尿管狭窄も認めることがあるため、工夫を行った。術後34日目に退院となり、移植腎機能は安定している。

13 B型肝炎ウイルスキャリア・肝硬変・抗リン脂質抗体症候群を併存したハイリスク患者に対する献腎移植の1例

- 1) 金沢大学附属病院 腎臓・リウマチ膠原病内科
- 2) 金沢大学附属病院 泌尿器科

○沖野 遼¹⁾、豊田善真¹⁾、越野瑛久¹⁾、湯淺貴博¹⁾、
大島 恵¹⁾、蔵島 乾¹⁾、西岡 亮¹⁾、山村雄太¹⁾、
原 怜史¹⁾、伊藤清亮¹⁾、水島伊知郎¹⁾、原 章規¹⁾、
坂井宣彦¹⁾、清水美保¹⁾、和田隆志¹⁾、藤村陸志²⁾、
牧野友幸²⁾、岩本大旭²⁾、野原隆弘²⁾、溝上 敦²⁾、
岩田恭宜¹⁾

60歳男性。紫斑病性腎炎による末期腎不全に対して、1992年より腹膜透析、2001年より血液透析を受けていた。肝硬変、B型肝炎ウイルスキャリア、抗リン脂質抗体症候群など複数の併存症を有しハイリスク例と考えられたが、本人の強い希望により献腎移植を実施した。術後、移植腎機能は良好に保たれている。文献的考察を加えて報告する。

14 当院で経験した献腎移植後の難治性CMV感染症の1例

- 1) 金沢大学附属病院 腎臓・リウマチ膠原病内科
- 2) 金沢大学附属病院 泌尿器科

○森 杏里¹⁾、越野瑛久¹⁾、上田莉央¹⁾、吉田美咲¹⁾、
湯淺貴博¹⁾、大島 恵¹⁾、蔵島 乾¹⁾、西岡 亮¹⁾、
山村雄太¹⁾、原 怜史¹⁾、伊藤清亮¹⁾、水島伊知郎¹⁾、
原 章規¹⁾、坂井宣彦¹⁾、清水美保¹⁾、和田隆志¹⁾、
藤村陸志²⁾、牧野友幸²⁾、岩本大旭²⁾、野原隆弘²⁾、
溝上 敦²⁾、岩田恭宜¹⁾

52歳男性。慢性腎炎による腎不全に対して脳死献腎移植を施行した。CMV-IgG抗体D+/R-のためpre-emptive therapyの方針としたが、移植後1か月に難治性CMV感染症を発症した。その後もCMV血症を複数回認めたが、腎機能は保たれ、pre-emptive therapyの方針を継続している。献腎移植におけるCMVリスク評価と治療について文献考察を含めて報告する。

特別講演

16:30-17:30

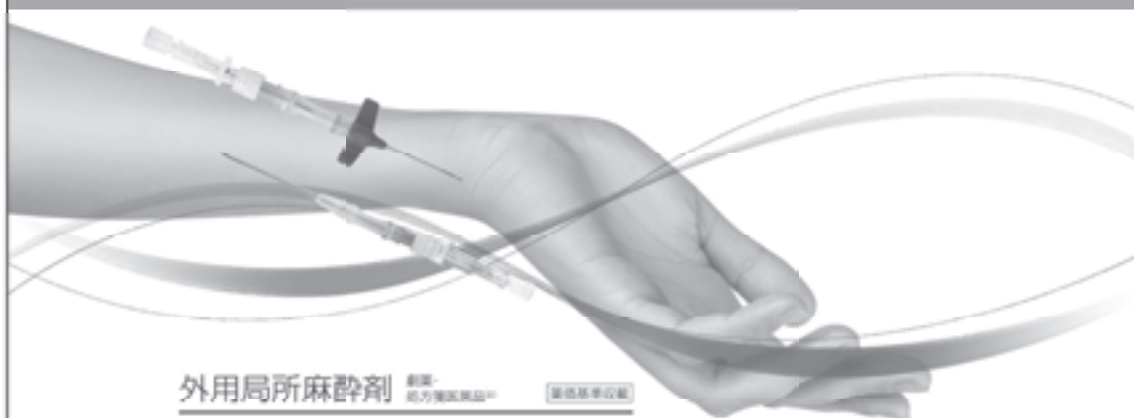
座長 金沢大学 岩田 恭宜

「透析アミロイドーシスの病態と治療」

新潟大学 腎・膠原病内科学 教授

山本 卓 先生

注射針・静脈留置針穿刺時の疼痛緩和に エムラクリーム



外用局所麻酔剤 新薬・
処方箋医薬品※ 薬価基準収載



エムラクリーム

EMLA® CREAM リドカイン・プロピロカイン
配合クリーム

※は第一従属特許権の効力範囲にのみ適用すること

エムラクリーム
情報サイト



<http://medinfo-saito.com/emla-cream/index.html>

2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)
2.1 メヘモグロビン血症のある患者
[プロピロカインの代謝物であるメヘモグロビンがメヘモグロビンを産生し、症状が悪化するおそれがある]
2.2 本剤の成分又はアジチル局所麻酔剤に対して過敏症の既往歴のある患者
4. 効能又は効果
○皮膚レーザー照射時等の疼痛緩和
○注射針・静脈留置針穿刺時の疼痛緩和
6. 用法及び用量
(成人)
通常、成人にはレーザー照射予定部位又は注射針・静脈留置針穿刺予定部位に35cm²あたり本剤1gを、密封したOOTにより60分間塗布する。なお、18歳以下の患者は25cm²までとし、塗布時間は30分を超えないこと。
(小児)
通常、小児等にはレーザー照射予定部位又は注射針・静脈留置針穿刺予定部位に15cm²あたり本剤1gを、密封したOOTにより60分間塗布する。なお、18歳以下の患者は25cm²までとし、塗布時間は30分を超えないこと。

年齢(性別)	用量	最大用量	最大塗布時間
0～2ヶ月		1g	60分
3～11ヶ月	25g以下	1g	60分
	25g超	1g	60分
1～14歳	25g以下	1g	60分
	25g超150g以下	1g	30分
	25g超	25g	30分

7. 用法及び用量に関する注意
(特徴関連)
7.1 本剤は60分間(最大120分間、ただし、0～11ヶ月、又は1～14歳で用量25g以下)の場合に最大60分間OOTにより塗布後、本剤を除去し、直ちにレーザー照射又は注射針・静脈留置針穿刺を行う。
7.2 小児等における本剤の使用量は、体重、患部の大きさ等を考慮し、必要最小量にとどめること。また、塗布時間を短くすること。(9.2.1.9.7.2.1.7.2.2 参照)
9. 特定の背景を有する患者に関する注意
9.1 合併症・併用薬等のある患者
9.1.1 グルコース600mg未満(600mg以下)の患者
メヘモグロビン血症が現れやすいため。(9.2.2.1.1.3.3.3.3 参照)
9.1.2 創傷・創傷性皮膚病のある患者
症状が悪化するおそれがある。
9.2 腎機能障害患者
9.2.1 重篤な腎障害のある患者
中毒症状が現れやすくなる。
9.3 肝機能障害患者
9.3.1 重篤な肝障害のある患者
中毒症状が現れやすくなる。

- 9.5 副作用
紅斑又は紅腫している可能性のある女性には、治療上の有効性が知覚性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。
9.6 母乳哺育
治療上の有効性及び母乳哺育の有効性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。授乳中は乳汁分泌中に移行することが報告されている。
9.7 小児等
9.7.1 低出生体重児を対象とした臨床試験は実施していない。(7.2 参照)
9.7.2 海外において、特に低出生体重児、新生児又は乳児(未成熟)では重篤なメヘモグロビン血症が多発報告されている。(7.2.9.3.3.3.3.3.3.3.3.3 参照)

10. 相互作用
「リドカイン」は、2,6-ジメチルアニリン誘導体の局所麻酔薬に分類され、局所麻酔薬に分類される。
10.2 併用注意(併用に注意すること)
クラリスロマイシン系抗菌薬(アモキシシリン/アシラジン酸)、マロファクトン(メロファクトン/キナゾリン)、エスデル型局所麻酔薬(プロピロカイン、アジチル局所麻酔薬)、局所麻酔薬(メロファクトン/キナゾリン)、局所麻酔薬(メロファクトン/キナゾリン)、アジチル局所麻酔薬(メロファクトン/キナゾリン)、クラリスロマイシン系抗菌薬(アモキシシリン/アシラジン酸)、マロファクトン(メロファクトン/キナゾリン)、エスデル型局所麻酔薬(プロピロカイン、アジチル局所麻酔薬)との併用は、重篤な副作用を引き起こす可能性がある。

11. 副作用
次の副作用が認められることがあるので、用量を十分に守り、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。
11.1 重大な副作用
11.1.1 ショック、アナフィラキシー(いずれも頻度不明)
不快感、口内異常感、喉痛、眩暈、倦怠、頭痛、発汗、全身倦怠、呼吸困難、血圧下降(動脈圧降、静脈圧降等)、血圧低下、顔面蒼白、脈動の異常、意識障害等の症状が認められた場合には本剤の投与を直ちに中止し、適切な処置を行うこと。
11.1.2 意識障害、痙攣、痙攣(いずれも頻度不明)
意識障害、痙攣、痙攣等の中毒症状が認められることがある。
11.1.3 メヘモグロビン血症(頻度不明)
オキザン等の症状が認められた場合には本剤の投与を直ちに中止し、メチレンブルーを投与する等、適切な処置を行うこと。(9.1.1.9.2.2.1.3.3.3.3 参照)
11.2 その他の副作用

	10%以上※	0.1～10%未満※	頻度不明
精神神経系	過敏症	浮腫性めまい、感覚鈍麻、頭痛	
消化器系		悪心、嘔吐	
皮膚	紅斑、発赤	紅斑、紅腫、そう痒症	小水疱、発疹、痒疹、接触性皮膚炎、湿疹、皮膚の熱感、皮膚炎、皮膚色異常、皮膚の紅腫、皮膚の紅腫、皮膚の紅腫
その他		アレルギー反応	血腫、疼痛、変色、浮腫、倦怠感

(注) 副作用の頻度は、クリーム、パッチでの国内臨床試験の結果を合わせて算出した。

●その他の注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。

2022年11月改訂(第1版)

製造販売元
(佐藤製薬株式会社)
佐藤製薬株式会社
東京都港区元赤坂1丁目1番27号
医薬事業部 0120-370466
9:00～17:00(土日祝日除く)

販売代理
(佐藤製薬株式会社)
扶桑薬品工業株式会社

大阪府城東区森之宮二丁目3番20号
研究開発センター学術部 06-6964-2763
9:00～17:30(土日祝日除く)

販売 アストラゼネカ社(英国)

AstraZeneca

2022年10月作成

ブレイクスルーを 患者さんへ

バイエルのミッション「Health for all, Hunger for none
(すべての人に健康を、飢餓をゼロに)」の実現に向けて、
患者さんの治療に変革をもたらすイノベーションを推進し、
人々のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献していきます。

バイエル薬品株式会社 <https://pharma.bayer.jp>

Health for all, Hunger for none





Life forward

かけがえない日常のために

ベーリンガーインゲルハイムは、株式を公開しない独立した企業として、約140年にわたり人と動物の健康に取り組んできました。これまで多様な分野で培った経験やパートナーシップを生かし、未来を見据えて研究開発に注力しています。

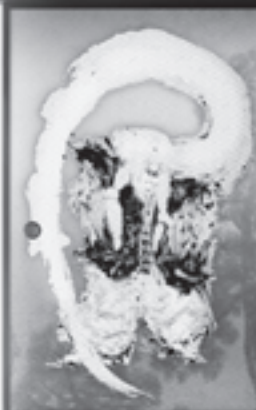


詳細はこちらをご覧ください
boehringer-ingelheim.com/jp/



Boehringer
Ingelheim

Sumitomo Pharma



糖尿病用剤

薬価基準収載 処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

ツイミーグ錠 500mg
TWYMEEG Tablets イメグリミン塩酸塩錠

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等につきましては、電子化された添付文書をご参照ください。

製造販売元（文献請求先及び問い合わせ先）

住友ファーマ株式会社

〒541-0045 大阪市中央区道修町 2-6-8

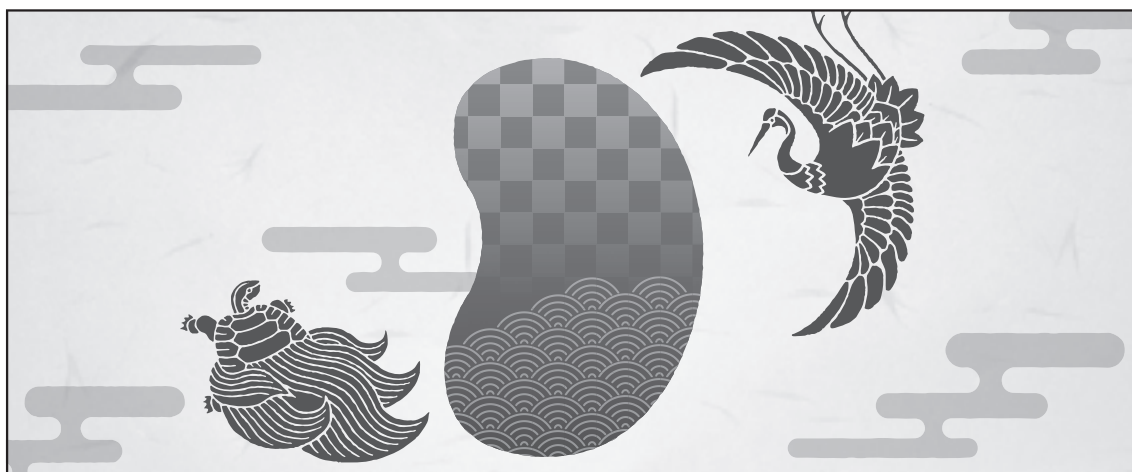
〈製品に関するお問い合わせ先〉

くすり情報センター

TEL 0120-034-389

受付時間／月～金 9:00～17:30（祝・祭日を除く）
<https://sumitomo-pharma.jp/>

2024年2月作成



HIF-PH阻害薬 腎性貧血治療薬

薬価基準収載

エナロイ[®]錠 2mg・4mg

ENAROY[®] tablets 2mg・4mg (エナロデュスタット錠)

創薬、処方箋医薬品^(注)

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

「効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報」等は、電子化された製品添付文書をご参照ください。



販売元
鳥居薬品株式会社
東京都中央区日本橋本町3-4-1



製造販売元
日本たばこ産業株式会社
東京都中央区日本橋本町3-4-1

文献請求先及び問い合わせ先
鳥居薬品株式会社 お客様相談室
TEL 0120-316-834
FAX 03-3231-6890

2022年11月作成



KYOWA KIRIN

私たちの志

検索

2019年7月作成



MINNEBRO®

選択的ミネラルコルチコイド受容体ブロッカー

【薬価基準収載】

ミネブ[®]ロ 錠 1.25mg
OD錠 2.5mg
5mg

一般名：エサキセレン

処方箋医薬品 注意—医師等の処方箋により使用すること

※「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項等情報」等については電子添文をご参照ください。



Daiichi-Sankyo

製造販売元（文献請求先及び問い合わせ先を含む）

第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

2023年10月作成

高カリウム血症改善剤 【薬価基準収載】
処方箋医薬品（注意 - 医師等の処方箋により使用すること）

ロケルマ[®] 懸濁用散分包^{5g}_{10g}

ジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム水和物
LOKELMA[®] 5g・10g powder for suspension (single-dose package)

「効能又は効果、用法及び用量を含む注意事項等情報」等については電子化された添付文書をご参照ください。

製造販売元【文献請求先】
アストラゼネカ株式会社
大阪市北区大深町3番1号 ☎0120-189-115（問い合わせ先フリーダイヤル メディカルインフォメーションセンター）

AstraZeneca 
2024年11月作成



Illustration by Okazoe Kensuke



カルシウム受容体作動薬

ウパシタ® 静注透析用

25,50,100,150,200,250,300 μ gシリンジ

UPASITA® IV Injection Syringe for Dialysis

(ウパシカルセトナトリウム水和物注射液)

劇薬、処方箋医薬品：注意－医師等の処方箋により使用すること

薬価基準収載



製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)

株式会社 三和化学研究所

名古屋市東区東外堀町35番地 千461-8631

●ウェブサイト <https://www.skk-net.com/>

プロモーション提携



キッセイ薬品工業株式会社

松本市芳野19番48号

文献請求先および問い合わせ先

(文献請求先)くすり相談センター

東京都文京区小石川3丁目1番3号 TEL 0120-007-622

(販売情報提供活動問い合わせ先) 0120-115-737

◎効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。

2022年5月作成

Veltassa
(patiromer) for oral suspension

日本標準商品分類番号 87219

医薬品リスク管理計画対象製品

高カリウム血症改善剤

処方箋医薬品® 薬価基準収載

ビルタサ® 懸濁用散分包8.4g

Veltassa 8.4g powder for suspension (Single-dose package)

パチロマーソルビテックスカルシウム

注) 注意－医師等の処方箋により使用すること

新発売



製造販売元

ゼリア新薬工業株式会社

東京都中央区日本橋小町10-11 〒103-8351

(文献請求先及び問い合わせ先) お客様相談室

TEL.(03)3661-0277 / FAX.(03)3663-2352

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文を参照ください。

2025年3月作成

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

〈メ 毛〉

[illegible]

参加者へのご案内

個人情報の保護について

Web講演の録画や録音、写真撮影（画面のスクリーンショット含む）は決して行わないでください。

個人情報に関する内容に関しては本人・団体の許可なく、学会の中で知り得たことを外部に情報拡散しないでください。

*発表7分、討論3分でお願いします。（テーマ演題は、発表10分、討論5分）

*パソコン（Windowsのみ）発表とします。Windows10で作成したPowerPoint 2013以降のfileをUSBフラッシュメモリーもしくはCD-Rでご持参下さい。

*会場費1,000円をお支払い下さい。

*客席内は飲食禁止です。（ホワイエ・エレベーターホールは可）

*駐車場の割引券の発行はありません。

*単位について

今回は2025年度の日本透析医学会生涯教育プログラムを併設する地方学術集会に認定されましたので5単位が加算されます。今回は参加されると10単位となります。

日本透析医学会（5単位）

日本泌尿器科学会（3単位）

日本腎臓学会専門医制度（1単位）

日本腎不全看護学会（3単位）

以上の単位が認定されます。

北陸腎疾患・血液浄化療法研究会事務局

〒920-0293

河北郡内灘町大学1-1

金沢医科大学 腎臓内科学教室内